

また、屋敷地Aの東側に、Ⅱ区 SD12・SD17等を北・東辺区画溝とする屋敷地Bが成立する。屋敷地Bの成立時期は不詳だが、区画溝内より17世紀前半に遡る遺物も出土していることから、あるいは近世Ⅰ期に屋敷地Aと共に成立した可能性も考えられる。調査区内では屋敷地の北東隅部を確認したのみで不明な点は多いが、屋敷地Aとの位置関係からすれば、ほぼ同規模の屋敷地と考えられる。

近世Ⅲ期

本期は、19世紀前葉～末頃を想定する。本期に属する遺構には、Ⅱ区 SD23・SD24がある。近世屋敷地は、本期には継続しない。両溝は、現状の地割に合致し、おそらくは農地に伴う用排水路と考えられる。土層断面にみられる近世耕土層の広がりからも、調査前の景観が本期にまでは遡るものと考える。

第2節 香川県内出土の有舌（茎）尖頭器について

既述したように、本遺跡からはほぼ完形の有舌尖頭器1点129が出土した。供伴する土器資料ではなく、後出する遺構からの混入資料であり、それ自体の位置付けは困難である。したがって、香川県内の出土資料を集成し、以下若干の比較検討をおこなうこととする。

香川県内からは、現在32遺跡・地点より39点が出土している。この中には、報告書では有舌尖頭器とされてはいるものの基部が欠損していて判断に迷う資料や、三条番ノ原遺跡や池下遺跡のように可能性はあるが断定できない資料は含めていない。また、東かがわ市五名地区、さぬき市雨滝山西麓、まんのう町長尾で出土が報告されているが、資料を実見しておらず、集計からは除外した。その他未確認の資料がある可能性も否定できず、実数はもう少し増えることと思われる。

出土資料は、表採資料が多く、調査により出土した資料も、後世の遺構や包含層等からの混入資料が大半で、年代的位置付けが困難である。こうした傾向は本県に限られたわけではなく、資料の性格に起因するという指摘もある（白石2010）。この中で、複数資料が出土した遺跡・地点は7箇所あり、いずれも2点が出土している。また、香西南西打遺跡と西打遺跡、川原遺跡と本郷遺跡、川津一ノ又遺跡と川津六反地遺跡、郡家一里屋遺跡と郡家原遺跡等、近接した遺跡で出土する例が数例ある。これらの遺跡では、例えば川原遺跡と本郷遺跡のように、両遺跡でほぼ同形態の資料が出土し、その製作時期が近似していることを示していることは、周辺に当時の集落等が所在した可能性を示唆するものと考える。

素材はサヌカイトが多数を占め、ほかに頁岩と泥岩が各1点ある。このうち泥岩とされた長砂古遺跡資料については、実見できておらず、その正否は不明である。おそらくは頁岩等他の石材の可能性が考えられる。

集成した尖頭器は、大型16点（長さ8.3cm以上、幅2.2～3.3cm）、中型16点（長さ5.6～7.5cm、幅1.8～2.7cm）、小型6点（長さ4.2～4.7cm、幅1.5～2.7cm）の規格により大きく3類に分類され、大型と中型で8割以上を占める。

次に形態について分類を行う。分類の基準は鈴木氏の分類案（鈴木1986）に従い、主に身部と基部の形状により細分を試みる。分類の詳細は第6表を参照されたい。分類の結果、基部は平基のものが、身部は外彎形態がそれぞれ多数を占める傾向が指摘できる。また、大型と中型で、形態の酷似する資料があり（例えば、中型の城山、原中村と、大型の辻田南、小山・南谷例等）、規格の相違は、狩猟対象に対する選択を示唆しているものと考える。

さて、鈴木氏は分類の結果、基部の形状に注目し、1～4段階の変遷を想定された。氏の変遷案は主に関東地方の出土資料をもとに組み立てられており、若干の地域差はあるだろうが、全体的な変化の方向性として普遍性を有すると考える。本地域の資料は、氏の変遷案で第3段階後半の様相を示すものが主体を占めるといえよう。

そうした中で、本遺跡出土の資料は、細身で大型・尖基・外彎形態を呈する本県では唯一の出土例であり、上記した資料群よりは古い様相（第2段階）を示している。尖基式のものは、本県では島嶼部や低位段丘上（前田東・中村遺跡、十川東・平田遺跡）を中心に出土しており、主体となる資料が多く出土した沖積扇状地の遺跡群とは立地において差が認められることも、上記想定と矛盾しないものと考える。

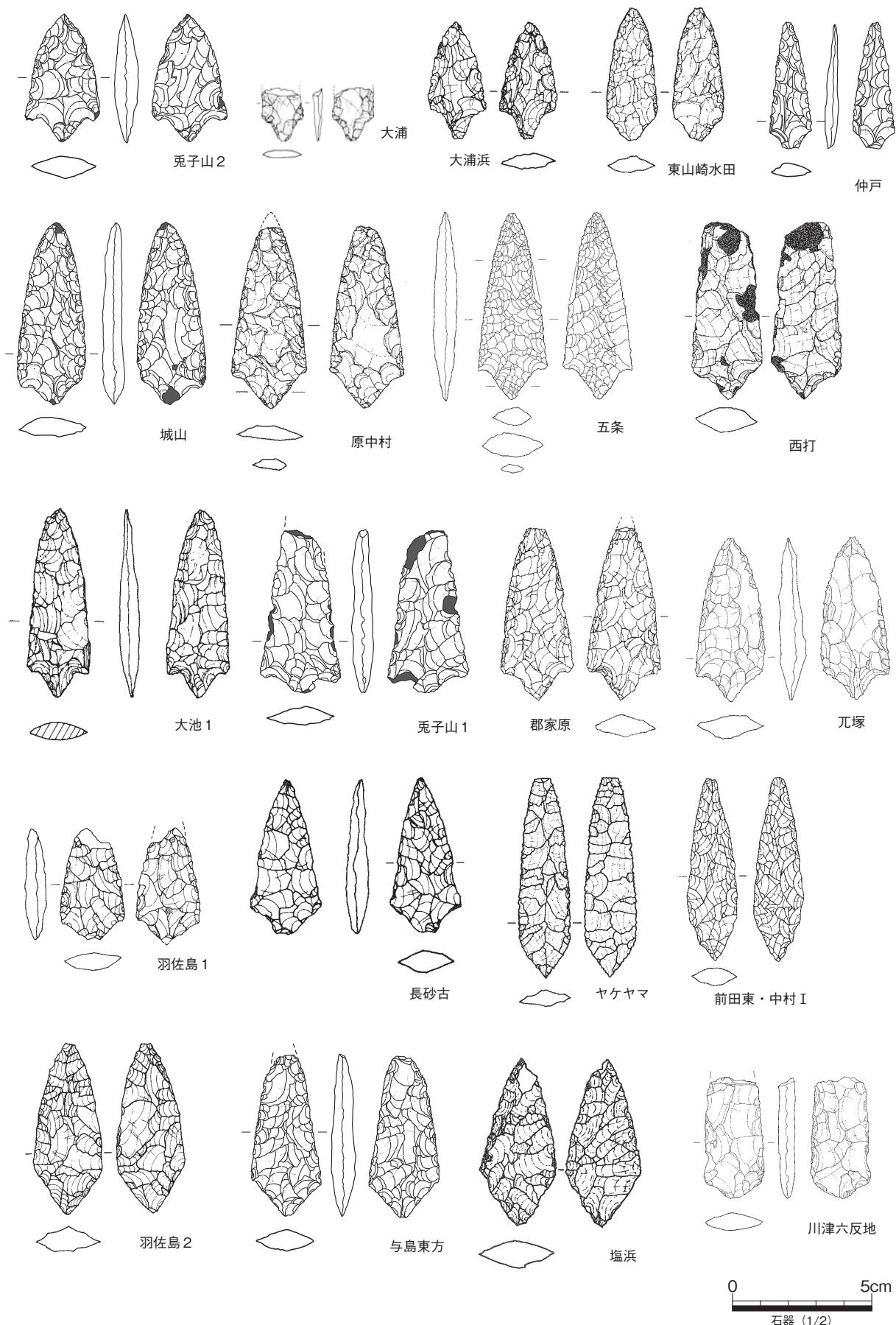
今後は資料の集成をさらに進めると共に、周辺地域の資料との比較検討などを進める必要があり、また土器資料と供伴した良好な資料の出土を期待したい。

引用・参考文献

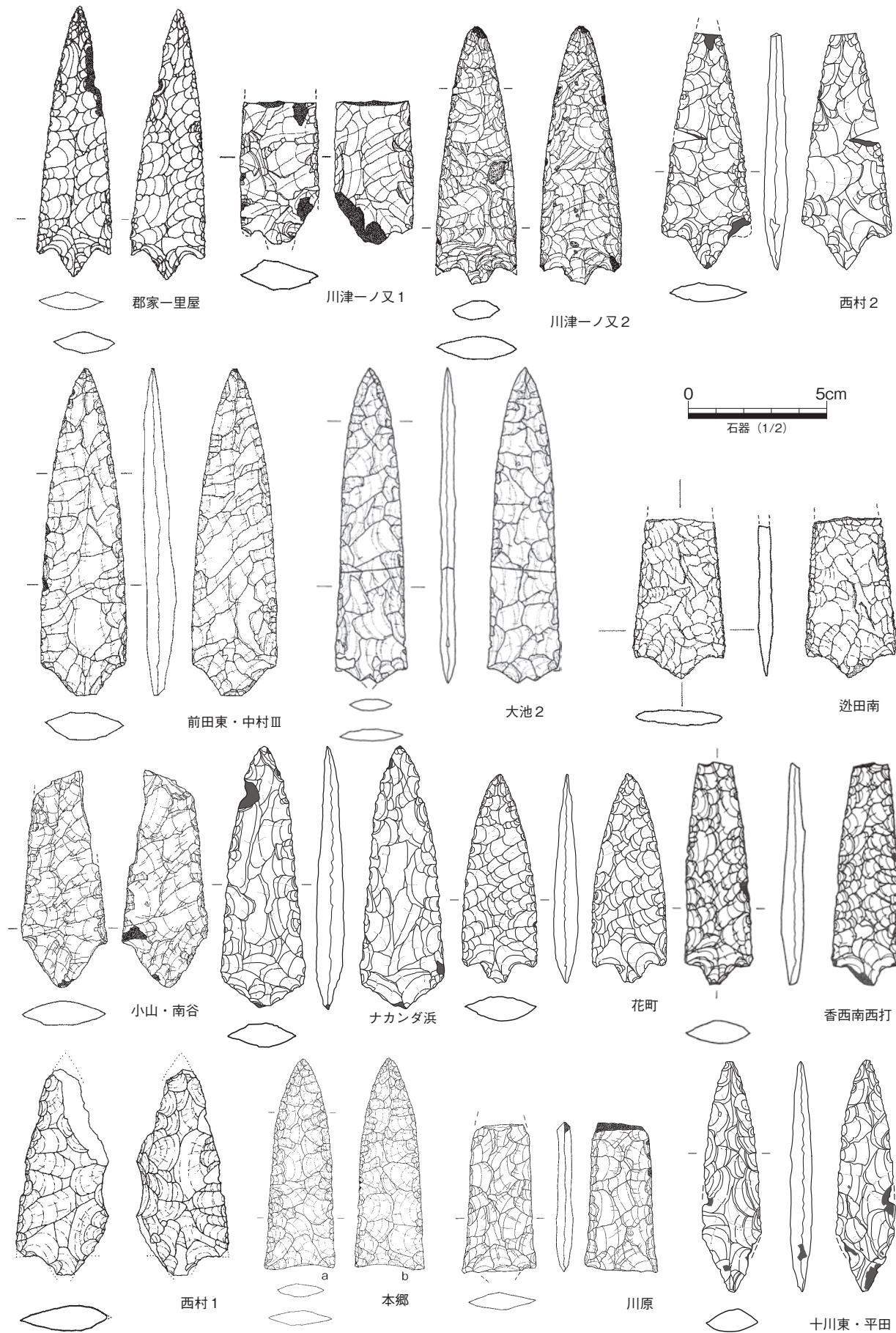
白石浩之 2010『縄文時代草創期』『日本列島の旧石器時代遺跡－日本旧石器（先土器・岩宿）時代遺跡のデータベース－』
日本旧石器学会
鈴木道之助 1986『新東京国際空港No.12遺跡の有舌尖頭器をめぐって』『千葉県文化財センター研究紀要 10』

遺跡名	所在地	出土位置	報告書番号	石材	計測値 (cm・g)		残存	分類	規格	基部	身部	備考
					現在長	最大幅						
塩田南遺跡	東かがわ市引田 SK05		サスカイト	5.7	3.3	0.5	11.7	上半折損	大型	平基	直線	東かがわ市教育委員会編 2009 「塩田南遺跡」
仲戸遺跡	東かがわ市引東 SD04	51	サスカイト	4.5	1.5	0.5	2.70	先端折損	小型	平基	直線	香川県教育委員会 2016 「塩田道 11号大内白鳥ハイバス道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊 仲戸遺跡・仲戸
原中村遺跡	高松市中村町原 SR01	328	サスカイト	6.5	2.6	0.6	9.97	一部折損	中型	平基	外彎	香川県教育委員会編 2000 「原中村遺跡」
小山・南谷遺跡	高松市新町原 SR625	2533	サスカイト	7.7	3.1	0.9	20.2	上半折損	大型	平基	直線	香川県教育委員会編 1995 「高松市新町原道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 小山・南谷遺跡」
前田東・中村遺跡	高松市引田東町 N(3) SR01	433	サスカイト	6.5	1.8	0.7	7.1	大型	平基	外彎	香川県教育委員会編 2006 「高松市新町原道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第3冊 前田東・中村遺跡」	
川東平田遺跡	高松市引田東町 II(2) SK02	94	サスカイト	11.7	3.0	1.0	36.99	ほぼ完存	大型	平基	外彎	香川県教育委員会編 1992 「高松東道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊 前田東・中村遺跡」
東山崎・水田遺跡	高松市東山崎町 D区包含層	973	サスカイト	8.3	2.2	0.8	12.31	一部折損	大型	平基	外彎	香川県教育委員会編 1988 「高松市東山崎町の古河・水門等の遺跡発掘調査報告第1冊 東山崎・水田遺跡」
大池	高松市林町 表採	第10区1	サスカイト	4.7	1.8	0.7	5.2	大型	平基	外彎	高松市教育委員会編 1988 「高松市水門町の遺跡発掘調査報告第1冊 東山崎・水田遺跡」	
香西南西打遺跡	高松市香西町原 II区中世包含層 S13		サスカイト	11.4	2.7	0.6	15	一部折損	大型	平基	直線	高松市教育委員会編 2000 「香西南西打遺跡 - 高松東山崎町の古河・水門等の遺跡発掘調査報告書」
西打遺跡	高松市香西町原 B3区包含層 1342		サスカイト	6.4	2.5	1.0	15.85	先端部欠損	中型	平基	直線	香川県教育委員会 2002 「サンボル・高松聯合倅事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊 西打遺跡」
几家遺跡	高松市香西町原 SR602	591	サスカイト	5.8	2.5	1.0	10.92	完存	中型	平基	外彎	香川県教育委員会 2014 「高松市香西町原の古河・水門等の遺跡発掘調査報告書」
川原遺跡	高松市川原町 石器プロック 1	44	サスカイト	5.3	2.6	0.6	10.68	先端折損	大型	平基	平行	香川県教育委員会編 1982 「高松市川原町の古河・水門等の遺跡発掘調査報告書」
本郷遺跡	高松市川原町 石器プロック 1		サスカイト	7.6	2.5	0.6	10.86	基部折損	大型	平基	平行	浜田重人 1994 「高松市水門町の古河・水門等の遺跡発掘調査報告書」
兎子山遺跡	高松市川原町 表採		サスカイト	5.8	2.9	0.7	10.46	上半折損	中型	平基	直線	高松市教育委員会編 2008 「兎子山南縄築跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
西村遺跡(山原地区)	高松市山原寺町 N24-第3層	第4区43	サスカイト	4.6	2.7	0.8	7.65	ほぼ完存	小型	平基	外彎	香川県教育委員会編 1982 「西村遺跡Ⅲ - 国道32号縄築バス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査 -」
西村遺跡	高松市山原寺町 縄築跡後山面 N24-第3層		サスカイト	8.5	3.2	0.8	17.49	一部折損	大型	平基	直線	香川県教育委員会編 1982 「西村遺跡Ⅲ - 国道32号縄築バス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査 -」
城山・醍醐・龍王宮下	坂出市西庄町原 表採		サスカイト	7.2	2.7	0.8	15.66	ほぼ完存	中型	平基	直線	香川県教育委員会編 1982 「西村遺跡Ⅲ - 国道32号縄築バス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査 -」
花町	坂出市花町 表採		サスカイト	7.5	2.7	0.9	15.84	完存	大型	平基	外彎	坂出市教育委員会編 1982 「西村遺跡Ⅲ - 国道32号縄築バス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査 -」
ナガンダ浜遺跡	坂出市涉水島 表採		サスカイト	8.4	2.7	0.8	17.39	一部欠損	大型	尖基	外彎	坂出市教育委員会編 1982 「西村遺跡Ⅲ - 国道32号縄築バス建設工事にともなう埋蔵文化財発掘調査 -」
重石・鼻	坂出市重石町 表採		サスカイト	4.2	2.7	0.6	6.5	完存	小型	平基	平行	鎌木義昌・高橋義 1965 「漸江内海地方の先史器時代」 日本の考古学 I 「先土器時代」 河出房新社
荒神鳥	坂出市重石町 [列] F16上層	520	サスカイト	2.8	2.2	0.4	2.86	上半折損	小型	平基	平行	長井義治 2000 「愛媛県今治市印町の古河・水門等の遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
大瀬遺跡	坂出市重石鳥 H3第3層	第16区1	サスカイト	7.2	1.8	0.6	7.78	先端折損	中型	尖基	直線	香川県教育委員会編 1984 「高瀬遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
ヤケヤマ東	坂出市重石鳥 A2・2・AN	第72区3	サスカイト	4.2	2.1	0.6	4.3	ほぼ完存	小型	平基	平行	香川県教育委員会編 1983 「ヤケヤマ遺跡・大瀬遺跡・長崎古墳 - 長崎通り・長崎古墳 - 岩戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
大瀬浜遺跡	坂出市重石鳥 南端小砂浜	110	サスカイト	4.0	2.4	0.7	6.7	先端折損	中型	平基	外彎	香川県教育委員会編 1988 「ヤケヤマ遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
埴浜遺跡	坂出市与島町 S1区耕土層	第19区3	サスカイト	5.9	2.7	1.0	12.66	ほぼ完存	中型	尖基	直線	香川県教育委員会編 1984 「埴浜遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
与島東方遺跡	坂出市与島町 E-25		サスカイト	5.8	2.5	0.8	10.61	先端欠損	中型	尖基	直線	香川県教育委員会 1973 「香川県埴浜遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
川津六反地遺跡	坂出市川津町 II-1区包含層	第72区429	サスカイト	4.4	2.2	0.7	7.26	上半折損	中型	尖基	平行	香川県教育委員会 1980 「川津六反地遺跡・川津津和遺跡」
川津一ノ瀬遺跡	坂出市川津町 SD03	741	サスカイト	5.1	2.9	1.0	18.3	上半折損	大型	平基	平行	香川県教育委員会 1987 「川津津和遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
三井番	丸亀市三井町 包含層	287	サスカイト	3.7	2.4	0.6	6.7	上半折損	大型	平基	外彎	香川県教育委員会 1982 「川津津和遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
郡家一里屋遺跡	丸亀市郡家町 II区SB02	3	サスカイト	9.7	2.6	0.5	2.04	大型	平基	外彎	香川県教育委員会 1993 「郡家一里屋遺跡」	
郡家原遺跡	丸亀市郡家町 II区SD09	836	サスカイト	6.2	2.7	0.8	12.33	先端折損	中型	平基	外彎	香川県教育委員会 1987 「郡家原遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
池下遺跡	丸亀市綾歌町 東	SH08	サスカイト	9.2	2.9	0.8	22.0	ほぼ完存	大型	平基	平行	香川県教育委員会 1988 「池下遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
五条畠遺跡	普通寺市原田町 SD04	418	サスカイト	5.9	1.7	0.9	10.5	上半折損	中型	平基	外彎	香川県教育委員会 1992 「五条畠遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
長砂古遺跡	観音寺市原田町 尻町包含層	第12区24	頁岩	6.6	2.5	0.9	12.45	一部折損	中型	平基	外彎	香川県教育委員会 2012 「五条畠遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
		第19区74	泥岩	5.6	2.5	0.9	9.71	ほぼ完存	中型	平基	内彎	普通寺市教育委員会 2012 「五条畠遺跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」

第6表 香川県内出土有舌尖頭器一覧



第118図 香川県内出土有舌尖頭器実測図1



第119図 香川県内出土有舌尖頭器実測図2